

チェコ経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Czech Republic)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: 石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufj.jp)

概況	消費、労働市場
<p>チェコ経済は、緩やかな回復基調が続いている。低インフレや労働市場の改善を背景とする実質所得の増加が景気回復の支えとなっている。第 1 四半期の実質 GDP 成長率（改定値）は、税制変更に伴う在庫投資の上振れにより前期比+3.1%と急加速したが、消費の寄与度も同+0.4%ポイントと、成長率の押し上げに寄与した。また、輸出はユーロ圏景気の持ち直しなどを背景に回復の動きがより鮮明化している。ただし、内需の拡大を反映して輸入の増加ペースが輸出以上に加速したため、純輸出の寄与度は低下した。足元の動きをみると、雇用情勢の改善から消費者マインドが上向いており、小売売上高も底堅い伸びが続いている。また、鉱工業生産は、自動車産業を中心に製造業が拡大ペースを維持している。</p> <p>先行きについても、低インフレや雇用回復の持続が、消費を支える要因となろう。また、EU 基金の流入に伴う公共投資の増加や低金利環境下での景況感の改善で、企業投資拡大への期待も高まっている。中銀は直近のインフレレポートで、今後も消費と投資が牽引役となり、2015 年の実質 GDP 成長率は前年比+2.6%と、前年を上回るとの見解を示した。またインフレ率については、公共料金等の規制価格引き下げなどを背景に同+0.2%と、前年の同+0.4%から一段の鈍化が見込まれている。</p>	<p>4 月の実質小売売上高は前年比+6.4%と、自動車、燃料の売上増を背景に前月の同+8.8%から減速した。もっとも、低インフレ下での賃金増加に加え、消費者マインドが上向き傾向にあるなど、消費を取り巻く環境は比較的良好である。雇用者数が金融危機以前の水準まで持ち直したことなど、労働市場の改善を反映し、失業懸念は低下基調を辿っているほか、向こう 1 年間の家計の財務状況や経済状況に対する期待感も改善が進んでいる。</p> <div data-bbox="837 660 1444 1041"> <p>(%ポイント) 消費者信頼感指数 (%ポイント)</p> <p>— 消費者信頼感 — 経済状況先行き - - 失業先行き ○ 家計の財務先行き状況 (右軸)</p> <p>2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>
GDP	物価、金融政策
<p>第 1 四半期の実質 GDP 成長率（改定値）は前期比+3.1%（前年比+4.2%）と前期の同+0.4%（同+1.4%）から急加速した。ただし、これはたばこ税の変更に伴う在庫変動のため、在庫投資の寄与度が同+3.9%ポイント（同+2.6%ポイント）に急拡大した一時的要因によるところが大きい。その他の需要項目では、個人消費が前期比+0.9%（同+3.0%）、総固定資本形成は同+0.2%（同+3.2%）と、前期からは若干減速感はあるものの、基調は安定している。また、輸出はユーロ圏景気の持ち直しを背景に同+3.8%（同+7.7%）と加速したが、輸入は中間財や資本財の輸入増加から同+4.1%（同+9.0%）と輸出を上回るペースで拡大したため、純輸出の成長への寄与は前期から低下した。</p> <div data-bbox="167 1489 742 1848"> <p>(前期比、%) GDP成長率と需要項目別寄与度</p> <p>○ 個人消費      ■ 政府消費 ■ 総固定資本形成      ■ 純輸出 ■ 在庫その他      ○ GDP</p> <p>2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015</p> <p>(注) 季節調整済 (年)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>	<p>インフレ率は依然低水準にあるものの、昨年 12 月から今年 2 月にかけて記録した前年比+0.1%を底に緩やかに上昇してきている。5 月の消費者物価上昇率は、前年比+0.7%と 3 ヶ月連続で前月から加速した。食料品・飲料価格や運輸関連費の下落幅が同▲0.3%、同▲3.1%と、前月の同▲0.7%、▲3.8%からそれぞれ縮小したほか、娯楽・文化関連費も同+1.0%と前月の同+0.7%から上昇した。</p> <p>5 月 7 日の金融政策委員会では、引き続き政策金利が 0.05%に据え置かれると共に、1 ユーロ=27 コルナを軸とするコルナ安誘導の継続が示された。中銀は、2015 年後半のインフレ率は、これまでの原油価格下落に伴う規制価格の引き下げなどから足元並みの低水準で推移するとみている。その後は、原油安効果の剥落や内需回復を背景にインフレ率は上昇に転じ、2016 年末には目標値（2%）を若干下回る水準にまで上昇するという見解が示された。ただし、インフレ下振れリスクは残ることから、為替介入による金融緩和を少なくとも 2016 年下半期に入るまで継続し、その後も長期的なデフレ懸念の高まりや内需の鈍化、あるいはインフレ期待の後退といった状態が見受けられた場合は、コルナ安政策を延長するとした。</p>
生産	国際収支
<p>4 月の鉱工業生産は前年比+4.3%となり、前月の同+6.3%から減速したが、季節調整済データでは前月比+0.8%と前月の同▲0.1%から増加に転じているため、安定的な生産拡大が続いていると判断される。5 月の製造業の購買担当者指数（PMI）も 55.5 と、前月の 54.7 から若干改善した。新規輸出受注指数が僅かに弱含んだ一方、国内受注の改善により、全体の新規受注指数は 56.0 に上昇した。</p>	<p>第 1 四半期の経常黒字は 37.3 億ドルと、前年同時期の 41.7 億ドルから減少した。ECB の量的緩和策の実施で対ユーロで若干コルナ高が進んだことや、内需回復に伴う輸入の増加で貿易・サービス黒字が共に減少したことが主たる要因である。一方、移転収支は 5.4 億ドルと、主として EU 基金からの資金流入の増加により、前年同時期の▲7.7 億ドルから黒字に転じた。なお 2015 年は、前期 EU 予算（2007-13 年）の割当てが消化できる最終年に当たる。チェコには足元 40 億ユーロ超の未消化予算があるが、EU 基金は投資プロジェクト完了によって支給されるため、実際にチェコに流入する基金は、20 億ユーロ程度になると予想される。</p>

# チェコ経済・金融概況

## 1. 年、四半期

	2012	2013	2014	14/Q1	14/Q2	14/Q3	14/Q4	15/Q1
名目GDP実額* (10億米 <sup>ト</sup> ℓ)	206.8	208.8	205.5	52.8	53.1	51.3	48.7	45.4
実質GDP成長率* (q/q, %)	▲ 0.7	▲ 0.7	2.0	0.3	0.3	0.4	0.4	3.1
(y/y, %)	▲ 0.7	▲ 0.7	2.0	2.3	2.1	2.2	1.4	4.2
(民間消費支出)* (y/y, %)	▲ 1.8	0.4	1.7	1.1	2.0	1.7	2.0	3.0
(総固定資本形成)* (y/y, %)	▲ 2.8	▲ 4.4	4.5	2.8	5.3	5.5	4.3	3.2
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 0.7	0.1	5.0	6.9	6.0	3.9	3.4	4.5
小売売上 (y/y, %)	▲ 0.9	1.1	5.6	7.1	4.8	5.7	4.8	7.9
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	3.3	2.5	3.6	2.8	4.0	3.7	3.8	4.5
消費者物価上昇率 (y/y, %)	3.3	1.4	0.4	0.2	0.2	0.6	0.5	0.1
賃金上昇率 (y/y, %)	2.5	▲ 0.1	2.3	3.2	2.1	1.6	2.2	2.2
失業率 (%)	7.0	7.0	6.1	6.5	6.2	5.9	5.8	5.8
貿易収支 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	3,291	5,444	7,421	2,775	2,293	1,596	874	2,377
輸出額 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	139,268	142,393	151,825	38,822	39,514	37,482	36,268	34,193
輸出伸び率 (y/y, %)	13.2	2.2	13.1	17.6	13.5	13.4	8.6	7.9
輸入額 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	135,977	136,949	144,404	36,047	37,221	35,886	35,394	31,815
輸入伸び率 (y/y, %)	11.0	0.7	11.9	15.4	14.2	11.3	7.4	8.2
経常収支 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	▲ 3,235	▲ 1,113	1,257	4,173	▲ 1,460	▲ 1,597	228	3,730
資本収支 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	3,306	7,704	3,859	4,915	▲ 458	▲ 718	264	5,191
対内直接投資 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	9,438	7,358	4,884	2,379	▲ 636	2,145	984	1,041
外貨準備高 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	44,265	55,798	54,085	57,058	58,566	54,410	54,085	52,036
対外債務残高 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	127,746	137,376	125,105	135,062	137,486	128,573	125,105	-
株価指数	1,199	1,216	1,240	1,260	1,268	1,223	1,209	1,239
短期金利 (Interbank 3m)	1.00	0.46	0.36	0.37	0.36	0.35	0.34	0.33
EU調整長期金利 (Govt. 10y bond yields)	2.83	2.13	1.58	2.32	1.79	1.36	0.88	0.55
Koruna/USD	19.57	19.57	20.76	20.03	20.02	20.85	22.13	24.54
Koruna/Euro	25.14	25.99	27.54	27.44	27.45	27.62	27.63	27.63
Koruna/GBP	31.01	30.61	34.17	33.14	33.69	34.79	35.02	37.16

## 2. 月次

	14/10	11	12	15/01	2	3	4	5
鉱工業生産 (y/y, %)	2.9	▲ 0.6	7.8	2.5	4.6	6.3	4.3	-
小売売上 (y/y, %)	7.8	0.7	5.8	6.9	7.9	8.8	6.4	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	4.4	3.2	3.9	4.4	4.5	4.6	5.0	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	0.7	0.6	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.7
失業率 (%)	5.8	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	5.9	-
貿易収支 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	614	495	▲ 223	842	789	749	784	-
輸出額 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	13,382	12,384	10,542	10,878	11,224	12,067	11,104	-
輸出伸び率 (y/y, %)	11.5	4.2	10.4	4.0	8.2	11.4	5.8	-
輸入額 (百万米 <sup>ト</sup> ℓ)	12,768	11,889	10,765	10,035	10,435	11,318	10,320	-
輸入伸び率 (y/y, %)	10.0	4.6	7.6	2.2	6.9	15.0	4.5	-
株価指数	1,197	1,216	1,213	1,190	1,249	1,278	1,303	1,279
短期金利 (Interbank 3m) (期末値)	0.35	0.34	0.34	0.33	0.33	0.32	0.31	0.31
EU調整長期金利 (Govt. 10y bond yields)	1.05	0.82	0.76	0.54	0.59	0.53	0.43	0.77
Koruna/USD	21.77	22.18	22.46	23.99	24.30	25.32	25.36	24.57
Koruna/Euro	27.59	27.67	27.65	27.89	27.61	27.38	27.45	27.40
Koruna/GBP	34.98	35.00	35.09	36.37	37.26	37.86	37.97	37.96

(注) GDPデータは季節調整済み、貿易収支は通関統計より。ハイライトは速報値

(資料) チェコ中央銀行、チェコ統計局、IMF、他。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。